

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学DP	学科DP	学習成果
社会福祉援助技術論Ⅱ	水谷 久	講義	4	社会福祉士(SS)	1, 2, 3	1, 2, 4	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	<p>社会福祉援助技術の理念と意義を知り、その展開過程について講義を行います。さらにサービス等利用計画及び個別支援計画作成プロセスを理解し、相談支援についての業務内容や相談援助活動の実際について学びます。</p> <p>また、社会福祉の現場においてどのようなソーシャルワーカーが求められているかについて考え、地域生活を支える相談支援のスキルを養い、社会福祉援助における価値・知識・技術・能力について理解を深めることを目的とします。</p>						
到達目標	<p>ソーシャルワークの定義及び構造と相談援助の展開過程の流れについて理解し、ソーシャルワークに関する基礎的な知識を修得することを到達目標とします。</p>						
回	学習内容	回	学習内容				
1	オリエンテーション	16	演習Ⅳ(モニタリング会議)				
2	福祉的援助を必要としている人	17	演習Ⅴ(事例A・Bの計画書作成)				
3	援助技術に関係する歴史上の人物	18	演習Ⅵ(サービス等利用計画の発表)				
4	バーネットやトインビーらの活動と功績	19	社会福祉士の倫理要項と行動規範について				
5	認知症高齢者のグループホームでの暮らし	20	国家試験過去問題(模擬試験及び解答と解説)				
6	認知症高齢者との対人援助について演習	21	自閉症の理解(関わりのポイント)				
7	ソーシャルワークの概要	22	自閉症の障がい特性				
8	ICFの理解	23	支援を必要とする子供たちの理解				
9	個別支援計画作成の視点	24	発達障害の理解(関わり方・ほめ方)				
10	福祉サービス提供のプロセスについて	25	グループ会議(個別支援計画書等の作成)				
11	利用者主体のサービス等利用計画とは	26	個別支援計画書の修正(モニタリング)				
12	サー担会議事項書の様式と記入例について	27	直接援助技術の基本的な枠組み				
13	演習Ⅰ(事例の紹介・受付票記入)	28	価値・知識・技能・能力の総体について				
14	演習Ⅱ(サービス担当者会議のロールプレイ)	29	援助技術模擬問題Ⅰ・Ⅱ(解答と解説)				
15	演習Ⅲ(サービス等利用計画の作成)	30	試験及び試験終了後に、授業のまとめを行う				
予習内容 復習内容	<p>予習：講義中に使用する配布資料(プリント)に目を通す等。</p> <p>復習：ノートの整理と考察メモを書き込む。</p>						
教科書	<p>テキストは使用しない。資料を毎回配布する。参考文献は講義中に提示。</p>						
成績評価	<p>筆記試験又はレポート課題を70%、出席時に積極的に発言する姿勢などを30%とし、総合的に評価します。</p> <p>6回以上欠席をした場合、試験の受験資格はありません。</p>						
実務経験	<p>在宅介護支援センター及び障がい者相談支援センターや障害者支援施設での勤務経験有。社会福祉法人の管理・運営及び障がい者・高齢者等の人権擁護や地域生活について相談支援活動をしています。</p>						
その他 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者・障がい者等、生活困窮者への支援について関心を持って受講していただくことを願います。 ・講義の進捗状況等により、内容を追加及び変更することもあります。 						